



いじゆ さとる 伊集 悟 議員

**問** 中学校での学力の落ち込みは沖縄だけの特異な状況だが原因は。

教育総務課主幹 いろいろな想定される。推測だが小学校で過剰な取組もあったかもしれない。5月のテスト前の約1年間、どういう取組をしたのか。小学校での学習課程をきちんと学べたか等、中学校との引継ぎも中学校の反省すべきこと。

**■学力格差が出る前の低学年に手厚い学習支援を！**

**問** 大阪の箕面市で2.5万人の子どもデータを調査。結果、貧困を背景に小4から学力格差が広がり、年齢を増すごとに貧困世帯は低学力へ、非困窮世帯は高学力へ固定化し、なかなか脱出できない。格差が広

がる前に適切な支援が必要との結論。沖縄は貧困率が高く、もっと厳しい状況だろう。中学の学力の課題解決と貧困の連鎖を断ち切るためにも文教のまちとして、格差が広がる前の低学年への手厚い学習支援を求めたい。

**町長** 貧困対策を含めて、格差是正をしないではいけない。国の予算をしっかりと勝ち取り、子どもたちのために充てたい。教育委員会とも課題を掘り下げ、前向きに対応すべきだと考えている。

**教育長** 貧困の連鎖による教育格差があってはならない。担任、学年主任、教頭、校長も含め、この視点に立ち、入学時から一人一人に寄り添う教育指導、授業改善が求められる。

**■地域の通学路の安全確保を**

のような基準で指定しているか。

**建設部長** (1) 県に災害報告を行い、10月5日に災害査定を予定。その後、災害事業で復旧工事の準備に取り組む。(2) 傾斜地帯における傾斜部分の角度や高さ等を基準としている。

**■騒音測定器の設置について**

**問** 普天間飛行場から離着陸する航空機は、本町上地区の上空を日夜飛行し、騒音、振動、電波障害が発生している。上地区に騒音測定器の設置を求めたい。

**町長** 平成24年のオスプレイの配備後も騒音や振動が発生。平成27年に県が測定を行ったが現在は終了。日中のみならず夜間の飛行も確認され町民から

**問** 呉屋の呉屋・上原線に狭小箇所があり、見通しも悪い。車同士が鉢合わることも頻繁。先日バックした車両が登校中の児童に接触しそうだったとの相談を受けた。地域からカーブミラーの設置の要望もあったと思うが状況は。

**土木課長** 今内部で担当係と現地調査し、対策に向けて検討中。

その他の質問  
○夏休み延長、臨時休校時の学習及び感染対策  
○コミュニティ・スクールの導入準備

苦情もあり、県に再度要請し、是非実施できるような方向性で、しっかりと対応したい。

**■空地対策について**

**問** 8月に坂田ハイツB地区の裏の空地が整備されている。目的及び町への説明は。

**建設部長** 所有する業者によると不法投棄が多く、現地調査を行い、今後土地の活用を検討したいとのこと。当該土地付近は市街化調整区域であり開発行為申請が必要になる。

その他の質問  
○新型コロナウイルスについて  
○新型コロナワクチン接種について

学校、家庭、地域との協働による心の教育を推進し食育、保健、安全教育など生活と関連を図った健康、体力づくりを推進していく。

その他の質問  
○新型コロナウイルス感染症拡大防止について  
○公共工事による住宅移転の状況  
○農業振興について  
○私印の今後について  
○町政運営について監査委員に伺う  
○町内児童生徒の学力について

**■歌碑建立について**

**問** 「月桃」の歌は県内、県外の小学校の平和学習でもよく歌われて、戦争の悲惨さと平和の尊さを多くの県民に啓発し、親・子・孫へと次世代に引き継ぐ役割を担っている。町の復帰50周年事業として、「非核反戦平和都市」を宣言する西原町

の各種平和事業にも貢献している「月桃」の歌碑建立を願いたい。

**町長** 月桃の歌は本町在住の海勢頭豊さんの作詞作曲で県内小中学校の平和学習等によく歌われている。また、全国ネット番組でも使用され、県外でも愛されている曲である。復帰50周年記念事業として、取組の方

法や実施の在り方等を含めて前向きに検討したい。

**■土砂災害警戒区域指定について**

**問** (1) 7月に翁長一号線の土砂崩落があり、現在も一部份間通行止めになっている。復旧の見通しは。(2) 土砂災害警戒区域はど

いということ、これまで何度が言われてきた。その中で、この人口の差がなぜ出てきているか。まず区画整理の導入について、南風原町は先駆けてやっている。これがほとんどその周辺が整備をされ、今建物が立地しているという形。それからあと一つ大きいのは、やはりソフト面において子育て支援とか、そういうのをしっかり手だてをしてきたのではないか。西原町においても、そういった意味では西地区の土地区画整理事業をはじめ、今用途区域の、那覇広域都市計画区域の区分見直し、それもやりながら、しっかりその人口増加政策をとっていききたい。ソフト面においては子供たちの支援をしっかりとやっていくことによって人



まえさと こうしん 前里 光信 議員

**■西原町の人口について**

**問** 隣の南風原町との差(5千人)がどんどん広がっている。今後のまちづくりとも関連して心配しているが、町長はどう考えているか。

**町長** 隣の南風原町と比較して確かに人口規模、財政規模も大体近